

施策の評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	01 子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード 010102
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ 44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画		
	担当部局		健康福祉部、教育委員会		
施策の内容(番号)		005 ~ 008			

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価	今後の方向性	担当課
		選択区分	選択区分	
005	質の高い幼児教育と保育の融合・充実を図り、子どもたちや保護者にとって望ましい環境を提供することができる認定こども園の設置などを通して、待機児童ゼロを維持します。	—	—	保育こども園課
006	私立保育所等の施設整備や認定こども園への移行に対する支援を行うことで、子育て世帯の多様なニーズに対する選択肢を拡充します。	A	①	保育こども園課
007	保育所、認定こども園等、就学前施設の質と量の両面から拡充を図り、子育て支援サービスの充実に取り組むとともに、これら施策に関わる職員の資質向上と、家庭・地域との積極的な連携を図ります。	A	①	保育こども園課/こども家庭センター
008	安心して子育てができるよう関係機関とのネットワークを充実し、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目なく総合的に支援します。	A	①	こども政策課/こども家庭センター/保険医療助成課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の 総合評価を 根拠とした 「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A	民間保育所・認定こども園の施設整備に対する補助及び運営経費の負担、子育て支援センター事業に対する補助、病児保育事業の実施、児童発達支援センターの管理・運営、子育てや発達等に関する相談・支援を計画どおり実施できました。また、児童手当及び児童扶養手当の給付、妊産婦・子ども・一人親家庭等に対する医療費の助成を実施するなか、子ども医療費、妊産婦医療費の所得制限を撤廃に向けて準備するなど、子育て支援の充実に向けた取組が進みました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A	A				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010102005
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ	44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)			
	担当部局		健康福祉部、教育委員会			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		005	質の高い幼児教育と保育の融合・充実を図り、子どもたちや保護者にとって望ましい環境を提供することができる認定こども園の設置などを通して、待機児童ゼロを維持します。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
005-1			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
005-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
005-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
005-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
005-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和5年度分)

005-6		効	◆		
		誰	◇		
		何	(千円)		
005-7		効	◆		
		誰	◇		
		何	(千円)		
005-8		効	◆		
		誰	◇		
		何	(千円)		
005-9		効	◆		
		誰	◇		
		何	(千円)		
005-10		効	◆		
		誰	◇		
		何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	区分	選択区分
	A 80点以上	—
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

4 今後の方向性		
今後の施策の内容の方向性	区分	選択区分
	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	—
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	—	—				
今後の方向性	①	①	①	①	—	—				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010102006
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ	44
	関連個別計画	第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）				
	担当部局	健康福祉部、教育委員会				
施策の内容 （第2次基本計画） ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		006	私立保育所等の施設整備や認定こども園への移行に対する支援を行うことで、子育て世帯の多様なニーズに対する選択肢を拡充します。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
006-1	認定こども園施設整備事業	民間認定こども園施設整備に対する補助	効	民間認定こども園の施設整備により、教育・保育環境が改善される	◆ 民間事業者による施設整備への適切な支援の実施	◎	令和4年度から繰り越した事業は完了し、令和5年度からの新規事業は予定どおり進捗したため、◎とした。 今後も民間施設に対する支援が必要であるため現状維持とした。
			誰	就学前児童のいる世帯	◇ 施設整備の実施率、進捗度合	◎	
	保育こども園課		何	教育・保育の提供により、ニーズに応じた選択ができる	233,674 (千円)	現状維持	
006-2	民間保育所施設整備事業	民間保育所施設整備に対する補助	効	民間保育所の施設整備により、保育環境が改善される	◆ 民間事業者による施設整備への適切な支援の実施	◎	令和5年度は民間保育施設の整備は無かったが、民間認定こども園の整備は行われ、保育所部分の整備が行われていることから◎とした。 今後も民間施設に対する支援が必要であるため現状維持とした。
			誰	就学前児童のいる世帯	◇ 施設整備の実施率、進捗度合	◎	
	保育こども園課		何	保育提供量が拡充され、保育の提供を受けることができる	0 (千円)	現状維持	
006-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
006-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和5年度分)

006-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
006-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
006-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
006-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	区分	選択区分
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性		
今後の施策の内容の方向性	区分	選択区分
	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	—	A	B	B	A				
今後の方向性	①	—	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010102007
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ	44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）			
	担当部局		健康福祉部、教育委員会			
施策の内容 （第2次基本計画） ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		007	保育所、認定こども園等、就学前施設の質と量の両面から拡充を図り、子育て支援サービスの充実に取り組むとともに、これら施策に関わる職員の資質向上と、家庭・地域との積極的な連携を図ります。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
007-1	地域子育て支援拠点事業補助金	民間単独施設での子育て支援センター事業の実施に対する補助	効	子育て親子との交流、子育て等に関する相談や情報提供を受けることができる	◆ 民間事業者への適切な支援の実施	◎	子育て支援センター担当者連携会議での研修、交流及び子育て支援コーディネーターの巡回訪問を通じて、支援や連携強化を図ることができた。また、年間利用者数は、新型コロナウイルスの影響を受け、令和2年度は4,742人まで減少したが、令和5年度には6,069人まで回復している。
			誰	乳幼児及びその保護者	◇ 利用者数(こども数)	◎	
	こども家庭センター		何	交流の場や相談を通じて、親の孤独感や不安感の緩和につながる	16,114 (千円)	現状維持	
007-2	地域子育て支援拠点事業補助金	民間保育所での子育て支援センター事業の実施に対する補助	効	子育て親子との交流、子育て等に関する相談や情報提供を受けることができる	◆ 民間事業者への適切な支援の実施	◎	子育て支援センター担当者連携会議での研修、交流及び子育て支援コーディネーターの巡回訪問を通じて、支援や連携強化を図ることができた。また、年間利用者数は、新型コロナウイルスの影響を受け、令和2年度は1,774人まで減少したが、令和5年度には3,143人まで回復している。
			誰	乳幼児及びその保護者	◇ 利用者数(こども数)	◎	
	こども家庭センター		何	交流の場や相談を通じて、親の孤独感や不安感の緩和につながる	19,179 (千円)	現状維持	
007-3	地域子育て支援拠点事業補助金	民間認定こども園での子育て支援センター事業の実施に対する補助	効	子育て親子との交流、子育て等に関する相談や情報提供を受けることができる	◆ 民間事業者への適切な支援の実施	◎	子育て支援センター担当者連携会議での研修、交流及び子育て支援コーディネーターの巡回訪問を通じて、支援や連携強化を図ることができた。また、年間利用者数は、新型コロナウイルスの影響を受け、令和2年度は1,807人まで減少したが、令和5年度には3,398人まで回復している。
			誰	乳幼児及びその保護者	◇ 利用者数(こども数)	◎	
	こども家庭センター		何	交流の場や相談を通じて、親の孤独感や不安感の緩和につながる	13,382 (千円)	現状維持	

施策の内容評価シート(令和5年度分)

007-4	公立保育所管理運営事業	公立保育所の管理・運営	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 公立保育所園の全施設の適正管理		○	公立保育所19園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。執行率は96.85%であり概ね達成したが、子育て支援センターのエアコンの突発的な故障などに対応したため本来修繕すべき箇所の手が回らなかったため予算の拡充が必要。
	誰		公立保育所を利用する児童	◇ 公立保育所管理運営事業の予算の執行率（100%）		○		
	保育こども園課		何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	936,286（千円）	拡充・充実		
007-5	民間保育所等運営事業	民間保育所等運営経費の負担	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内22施設、市外10施設		◎	民間保育所等に対し、委託費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。 申請額＝交付額（100%）
	誰		民間保育所等を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の申請額に対する交付額（100%）		◎		
	保育こども園課		何	事業者の安定した園運営への支援により、保育環境の向上を図る	2,685,971（千円）	現状維持		
007-6	公立認定こども園管理運営事業	公立認定こども園の管理・運営	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 公立認定こども園の全施設の適正管理		○	公立認定こども園6園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。執行率は96.74%で概ね達成したが、報酬や共済費などで大きく不足し流用するなどの対応が必要であったため適正な予算要求と管理に努めた。
	誰		公立認定こども園を利用する児童	◇ 公立認定こども園管理運営事業の予算の執行率（100%）		○		
	保育こども園課		何	安心して教育・保育を受けられるよう教育・保育環境の向上を図る	527,788（千円）	拡充・充実		
007-7	民間認定こども園運営事業	民間認定こども園運営経費の負担	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内17施設、市外8施設		◎	民間認定こども園に対し、施設型給付費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。 申請額＝交付額（100%）
	誰		民間認定こども園を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の申請額に対する交付額（100%）		◎		
	保育こども園課		何	事業者の安定した園運営への支援により、教育・保育環境の向上を図る	2,488,272（千円）	現状維持		
007-8	病児保育事業	保護者が仕事などの事情で、病気や病気回復期にある子どもの保育が困難な場合、一時的に預かる事業の実施	効	保護者が仕事等の事情により、病気や病気回復期にある子どもの保育が家庭で困難な場合に、一時的に預かることができる	◆ 必要に応じた支援の実施		◎	病児保育施設2施設、病児病後児保育施設2施設に事業を委託し、病気や病気回復期にある子どもの保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援した。利用者数は令和4年度717人から、令和5年度931人と増加した。今後も継続して事業を実施していく。
	誰		病気や病気回復期にある子どもの保育が困難な保護者	◇ 利用者数		◎		
	保育こども園課		何	保護者の子育てと就労の両立ができる	42,103（千円）	現状維持		
007-9	げいのうわんぱく管理運営事業	芸濃総合支所敷地内に整備した「げいのうわんぱく」の管理・運営	効	気軽に立ち寄り、心身をリフレッシュし遊びながら仲間づくりができる	◆ 親子でつどい、交流できる場、こどもの遊び場の提供		◎	新型コロナウイルス感染症が5類移行となったこともあり、利用者数が増え、目標に近い29,499人の利用となり、親子が安心して過ごせる居場所を提供できた。引き続き利用者に満足度と安心感を提供できるよう努める。
	誰		市内外の子育て中の親子・家族	◇ 年間利用者3万人		○		
	こども家庭センター		何	親子が安心して過ごせる居場所ができる	12,955（千円）	現状維持		

施策の内容評価シート(令和5年度分)

007-10	たるみ子育て交流館管理運営事業	子育て支援拠点施設として整備した「たるみ子育て交流館」の管理・運営	効	幅広い世代が集い、地域全体での子育て及びその支援ができる	◆ 親子でつどい、交流できる場、こどもの遊び場の提供	◎	新型コロナウイルス感染症が5類移行となったこともあり、利用者数が増え、23,562人の利用となり、親子が安心して過ごせる居場所を提供できた。引き続き利用者に満足度と安心感を提供できるよう努める。
	こども家庭センター		誰	市内外の子育て中の親子・家族、地域で子育て支援に関わる人	◇ 年間利用者2万人	◎	
	こども家庭センター		何	子育てへの関わりを当事者だけでなく地域全体に広げることができる	10,843 (千円)	現状維持	
007-11	児童発達支援センター「つうぽぽ」管理運営事業	児童発達支援センター「つうぽぽ」の管理・運営	効	発達に心配のある子どもへの早期支援	◆ 早期支援のための療育の充実	◎	児童発達支援においては、子ども一人ひとりに応じた療育と共に保護者支援を行った。保育所等訪問支援及び計画相談においても、子ども及び保護者に手厚い支援を行い、関係機関との連携を図ることでセンター業務全体の充実を図ることができた。 保護者による事業所評価において、センターの支援に満足しているとの回答が約96%あった。
	こども家庭センター		誰	発達に心配のある未就学児	◇ 保護者の事業所満足度80%以上	◎	
	こども家庭センター		何	個に応じた発達支援を行う	35,340 (千円)	現状維持	
007-12			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があつたか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	区分	選択区分
A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満		A

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

4 今後の方向性		
今後の施策の内容の方向性	区分	選択区分
① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要		①

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010102008
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ	44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)			
	担当部局		健康福祉部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		008	安心して子育てができるよう関係機関とのネットワークを充実し、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目なく総合的に支援します。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の 振り返りとこれから (実施評価、事業評価、 今後の方向性を選んだ理由)	
	効		事業の実施により 直接的に表れる効果	◆ 当初の 事業実施計画	実施 評価			
	誰		誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業 評価			
	担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の 方向性		
008-1	子育て支援事業	子育て支援事業、子育て広場支援、子どもの預かり事業、児童虐待防止の実施	効	こどもの預かりや訪問支援の実施より、子育て環境を充実させることで、児童虐待の防止を図る	◆ 安心して子育てできる体制の整備		◎	こどもの預かりや訪問支援の希望を受けて、利用の調整を行い、ショートステイ延べ218日、訪問支援延べ219件の利用があり、家庭状況に応じた支援を行うことができた。今後も安心して子育てできる環境整備のため事業を継続していく。
	誰		児童及びその保護者	◇ 利用件数		◎		
	こども家庭センター		何	安心して子育てできる環境の整備を行い、子育て支援を充実させる	28,732 (千円)	現状維持		
008-2	発達支援事業	専門職等による窓口・巡回相談、療育事業の実施、成長過程に応じた発達障がい児、保護者に対する途切れない支援の実施	効	発達に関する途切れない支援の実施	◆ 相談窓口の充実や体制の整備		◎	窓口・巡回相談など、発達に関する相談に対する支援の実施回数は増加しており、必要な人への対応はできている。引き続き専門職等による対象児や保護者への丁寧な対応・支援を行っていく。
	誰		発達に課題のある子どもとその保護者	◇ 相談に対する支援の実施率100%		◎		
	こども家庭センター		何	集団生活や家庭における困り感が軽減とされる保護者の不安が軽減される	7,833 (千円)	現状維持		
008-3	児童手当給付事業	国内に住所を有する中学校修了までの児童養育者への手当の給付	効	児童手当を支給する	◆ 子育て世帯に対する経済的支援の実施		◎	手続き上の不備による却下件数は、申請件数2,063件のうち書類不足による1件のみとなり、支給要件を満たす者に対し滞りなく手当の支給を行うことができた。令和6年10月より手当制度拡充となることから、それに向けての準備・体制を整えていく。
	誰		中学校修了までの児童養育者	◇ 申請件数に占める手続き上の不備による却下件数割合		◎		
	こども政策課		何	子育て世帯に対し、経済的支援を行う	3,465,460 (千円)	拡充・充実		
008-4	児童扶養手当給付事業	ひとり親家庭の児童養育者への手当の給付	効	児童扶養手当を支給する	◆ ひとり親家庭に対する経済的支援の実施		◎	手続き上の不備による却下はなく、ひとり親家庭等の生活の安定と自立に寄与することができた。令和6年11月分より、全部支給及び一部支給の所得制限限度額が引き上げられる等の制度拡充が行われることから、それに向けての準備を適切に行っていく。
	誰		父母の離婚などにより父又は母と生計を同じくしていない児童を養育している家庭	◇ 申請件数に占める手続き上の不備による却下件数割合		◎		
	こども政策課		何	ひとり親の子育て世帯に対し、経済的支援を行う	868,481 (千円)	拡充・充実		

施策の内容評価シート(令和5年度分)

008-5	医療費助成事業	妊産婦、子ども、一人親家庭等に対する医療費の助成	効	保健の向上と福祉の増進につながる	◆ 助成を希望する全員への助成	○	大いに効果が認められる。 令和6年9月からは、子ども医療費、妊産婦医療費の受給資格に係る所得制限を撤廃し、窓口無料の拡充を実施することで、さらなる効果が見込まれる。
			誰	妊産婦、子ども、一人親家庭等	◇ 請求、申請に基づく適正な給付実施100%	◎	
	保険医療助成課		何	経済的負担の軽減	1,121,386 (千円)	拡充・充実	
008-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
008-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
008-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
008-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	区分	選択区分
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性		
今後の施策の内容の方向性	区分	選択区分
	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

